

PRIMULA CUNEIFORIA BULLETIN

Pontents

In A Shot (岡 孝雄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	• 002
83 号特集山に行けなくなったら何して遊ぶ	?	•	•	•	• 003
今年の冬山合宿 南ア・荒川岳 (山里守広)・	•	•	•	•	• 004
振られ続けた今年の八ヶ岳 (市瀬 江利子)・・	•	•	•	•	• 005
復活ハイキング (平 真里)・・・・・・・・	•	•	•	•	• 008
今シーズンの山スキー(前編)(北原 浩平)・・	•	•	•	•	• 012
積雪期のマイナールートも 楽しいワン U^ェ^U その 8 一宝剣岳・サギダル尾根一 (初鹿 裕康)・・・	•	•	•	•	• 014
中ア・宝剣岳サギダル尾根 (市瀬 江利子)・・	•	•	•	•	• 017
白馬と尾瀬の山スキー (山里 守広)・・・・・	•	•	•	•	• 019
景色を見ながら! (初鹿 裕康)・・・・・・	•	•	•	•	• 021
なほみさんのいつまでやってんだ 全くクライミング日記 (水野 奈保美)・・・	•	•	•	•	• 022
山行一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	• 025
編集、後記。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	• 027

Takao Oka

In H Shot



19才の秋、社内の駅伝メンバー4人で(当時上野公園で大会を開いていた)燕岳から蝶ヶ岳へと縦走した。2日目に蝶ヶ岳で幕営したが、夜半から強風雨。順番にポールを押さえて堪えていたが(ツエルトに毛の生えたような帆布製)我慢しきれず小屋へ緊急避難。入口の土間で朝を迎えた。さすが小屋代は取られなかった。長塀の急坂を下り、開放感溢れる徳沢の平地に驚き(乳牛もいた)明神で船にも乗って下山した。岡の穂高デビュー山行であった。どういう訳か若い頃の記憶は鮮明に想い出す。感受性が豊かで素直だったのか?いずれにしても、タダタダ若いということだけで素晴らしかったのだと思う。

年末の悪天で日程を遅らせ入山した。秋に荷揚げをしたにもかかわらず、重荷とトレーニング不足にあえぎ、蝶の冬小屋に着く。寒いが快適な内部には他に10名ほど居り譲り合ってシュラフを敷き詰める。聞くと燕岳からの縦走の若者が多い。

翌朝は思ってもいなかった微風の大快晴。槍から 西穂までの黎明の大展望が広がる。古典アルピニズ ムを育んだ前穂の北尾根をメインに茜色に染まる岩 稜を狙った。さすが穂高!高度感とスケールが違う。 しかしながら狙っていたシュカブラの発達は少なく、 その上自分の影が写り込んでしまう。太陽が上がっ てから撮影した。写真は色もさることながらやっぱ り光と影だ。3日目は薄雲に被われ光が弱い。露出を 切り詰め何とか立体感を出すようにしたが、見た目 以上には映らない。デジタルも持参したので下山し てから何とか仕上げた。

釜トンネルまでこんなに長いとは!ホウホウノ態でたどり着き、沢渡でペンションの湯に浸かった。

年々高いところに登らなくなってきているが、久 し振りの穂高は素晴らしい。トレーニングをしなく ては!!

(82 号「錦秋の鏡池」は、「錦秋の錫丈岳」の誤りでした。)

83号特集 【 に行けなくなったら何して遊ぶ?

山に行けなくなったら、何をするか。まさに今その状態。

私の場合、やっぱり海釣りかな。船は必ず船酔いするので、堤防釣りがいい。どんな魚がかかるかわからないわくわく感が好きだ。何本も竿を入れて、いろいろと試してみる。さびきにしてみたり、浮きにしてみたり、ルアーにしてみたり。のんびりと海を見ながら、ビール片手にという釣りは性に合わないみたいで、結構忙しく動きまわっている。釣った魚は、申し訳ないので、必ず食べることにしている。でも、釣りも奥が深いので、山の片手間で、本格的にやるのは難しそう。お金もかかるしね。(EI)

"山に行けなくなった"のも過去になりつつあるけど・・・何をして良いかわからなくて困った。山に関わることは、行けないだけにやりたくない。寄席、芝居、美術館に行く、山に行かない友人と都心で食事。なんか、マニュアル通り。(山に行けるようになったら、これらの場所には足を運ばなくなってしまった。山以上に魅力的な遊びはない。)(T)

山に行かない時は、概ねテニスに励んでいる。山でバテない為にトレーニングの一環としてテニスを取り入れ、もう22年のテニス歴が経った。テニスはボールが飛び交う中で、人間の性格が顕著に表現されて実に痛快である。山は変化に富む自然の中で、経験や技術を駆使したところに充実感が得られるものと信じる。それも体力強化があっての事だ。(Y)

別に困りませんが何か。もともとそんなに山好きじゃないしw。早起きしたりエリアやパートナーの心配しなくて済むからかえって気が楽。ひとりで御嶽ボルダーとかしてればいいし。あれ?(M)

山岳系映画でもみる。(KK)

以前は、山に登れないときには 山の映画でも見に行くと書いた オススメは「180south」と そして、あの日、約束を果たせなかっ た

嫌になるほどの被害をみて 山に行く気持ちが萎えた いまは、いろいろな支援があると 好きなことをやることが大切と そんな風に思ってる(K)

トライアスロン、アドベンチャーレース、トレイルラン、なんてのも出来ないか?身体動かさないと死んじゃう((+ +))(H)

やはり、土いじりでしょうか?

これは男女問わず結構無心になれる作業で以外にも楽しいものです。

別に庭なんて無くてもOKです。植木鉢、プランター等でベランダ、軒下なんかでも出来てしまう!なにを植えるかを悩むのも楽しいです。草花も良いですが、収穫出来るものであれば歓びも倍増。ちなみに、去年はモロヘイヤ、プチトマト、ピーマンに挑戦しましたが…

ピーマンはコチコチで大きくならずに失敗。(でも食べられます。)モロヘイヤに至っては、次々に葉が出てくるので2ヶ月位は収穫できる。

春の花が終われば土を耕し少し休ませ夏野菜の種、何を撒くか決めなければ。ただ今思案中!(R)



年の冬山合宿 南ア・荒川岳

山里守広

日程:2010年12月30日~2011年1月2日 山域:南ア・荒川岳 メンバー:山里、西本

今回の年末年始の山行は、元々三人で蝙蝠尾根から塩見岳をピストンする予定であったが、一人が不参加となった為、荒川岳に変更した。荒川岳に変更した理由として所要時間が短い事に起因する。結局は、その計画には無理があり、登頂に至らなかった。今回の計画上の失敗は、今後の山行計画に活かしたいと考えます。

12月30日(木)

田代口から車で林道に入り、どんどん高度を上げて行く。やや遅めの出発時間が気になる。車を登山道入口まで、歩いて一時間位かかる林道わきにとめて歩きだす。登山途中に、氷柱の下を歩かなければならない箇所もあって緊張した。その日はどんよりとした空模様から雪が降りだし、時間が経つにつれて雪は益々激しく降ってきた。伝付峠へのジグザグに登る登山道は重い雪のラッセルとなり、登る時間が捗らないと同時にかなり疲れた。結局、伝付峠に着いたのは5時頃であった。夜のカーテンも迫ってきたので、本日の幕営を伝付峠にした。予定では二軒小屋まで行く筈だったが疲れ切った我々には無理だった。

12月31日(金)

昨日の疲れが残っていたのか、私も西本さんも寝坊してしまい遅い出発になった。今日の予定は千枚小屋にテントを張る予定であったが、この時点で最早千枚小屋まで登る事をあきらめていた。二軒小屋には11時頃に到着。中途半端な時間なので、小屋に入ってテントを張り終えた後に、空身で明日登る予定の千枚小屋への登山

口へ偵察がてら、トレースを作る目的で向かう。 ダム上の吊橋を渡ると、千枚岳への登山口があった。急なジグザグの斜面を登る。黙々と登ると 二軒小屋を見下ろす尾根筋に出る。そこで休憩 した後に、二軒小屋に戻る。ちょっと早いけど、 ビールを飲みながら食事の準備に取り掛かる。 明日はなるたけ早い時間に出発して、ピストン で行ける所まで頑張ってみようと、西本さんと 話し合う。

1月1日(土)

昨日にトレースを作っていたせいか、急な登りもそれほど苦にならない。今日の西本さんは一昨日と違って少し元気を取り戻したようだ。 尾根筋からは急な尾根をラッセルを強いられつつ登り続ける。途中から今後の西本さんの為にもトップになってラッセルをしてもらう。12時過ぎた頃から空模様が怪しくなり、どうしようか考える。結局、その日はマンノー沢頭すら行けず、二軒小屋に戻る事にした。その日も早い時間からの食事となった。今回の山行はどこの山にも登れず、ひやかしに終わった。正に敗退である。

1月2日(日)

今日は下山日というのに天候は極めて良好だ。 少し後ろ髪を引かれる思いで小屋を後にする。 下山するのに伝付峠の登りは少々疲れる。伝付 峠ではのんびりと時間をとって休む事にした。 考えてみれば、他の登山者を見たのは入山日に 無口な様子を感じさせる単独の青年だけだった。 南アはやっぱり静かな山だった。

子子られ続けた今年の八ヶ岳 K

市瀬 江利子

目向山からの甲斐駒。

なんとかバリエーション一本行きたかった、今年の八ヶ岳。週 末に強い寒気が押し寄せる周期だったため、結局、一本も登れず じまい。これは温暖化のせいなのか??敗退記録を並べても、い まひとつなので、今回は天気図も添付してみました。



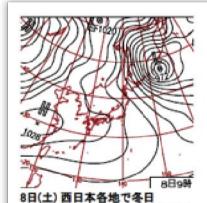
2011年1月8日~10日

八ヶ岳・天狗尾根

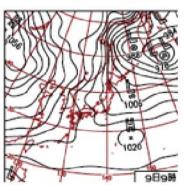
1/25000 地図:八ヶ岳西部・東部 メンバー:初鹿、市瀬、北原、西本

初日、入山して、天狗尾根の途中幕営。二 日目は赤岳から三又峰、横岳往復で、杣添尾 根途中でもう一泊。三日目に下山の予定だっ たが、二日目に雪と風が激しく、第一岩峰の 手前で戻ることにした。他のパーティもこの 日は、次々と下山していた。翌日晴れていれ ばいけなくも無かったが、かなりハードな行 程となるので、大事を取って下山。案の定、 下のほうは晴れていました。

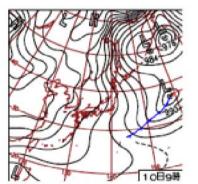
翌日、日向山へのハイキング。この山は、 とても気持ちの良いいい山でした。上の駐車 場までは、途中で、チェーンを装着。歩きや すい登山道を登って行くと、一時間ちょっと



のはエノは日本日本の日本海側では雪や雨、 先島諸島では雨や曇り。その他は最低 気圧に覆われ概ね晴れ。今朝の最低 気温は放射冷却も加わり冷え込む。 大阪市中央区-0.3℃と今冬初の冬日。



9日(日) 西から寒気押し寄せる 冬型の気圧配置。西日本も含め日本 海側は雪や雨。最高気温は九州や北 日本で平年より3~5℃低いが、晴れ て南風が入った関東甲信は3月並。夜 には長野県北部で40cm台の降雪。



10日(月) 寒い成人の日 冬型の気圧配置が強まり、日本海側 は雪や雨、太平洋側は乾燥した晴天 が続く。強い寒気の影響で全国的に 寒く、東北〜北海道は真冬日。北海 道中頓別で日最低気温-26.3°C。

1月8日から10日までの天気図



敗退だったけど、西本ちゃんの作ってくれた、 クスクスは美味しかった!

で、真っ白な砂地の頂上へと飛び出る。ここからの、八ヶ岳&甲斐駒は素晴らしかった。 快晴だったので景色も良く、ちょっと悔しいが、八ヶ岳上部はきっと風が強いだろうと言うことで、気持ちを納得させる。下山は裏側を回る。登山道は表側に比べると、かなり急。林道に到着後、アイスのゲレンデを確認後、帰途についたのでした。

2011年1月15日~16日

八ヶ岳・ショルダーリッジ左 1/25000 地図:八ヶ岳西部 メンバー:小堀、初鹿、市瀬、西本

赤岳鉱泉にテント泊で、ショルダーリッジの予定だった。が、下は晴れていても、八ヶ岳上部は入山時から雲が降れていた。案の定、赤岳鉱泉へ向かう途中から雪が降り、結局、夜中降り積もり、朝まで降り続き、雪崩の危険から、今回も戻ることに。今回も冬型が強く、しまっていた。

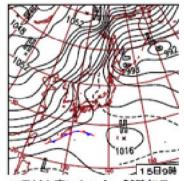


日向山からの八ヶ岳、ちょっと悔しい。

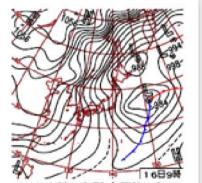
2011年1月29日~30日

八ヶ岳・阿弥陀北西稜 1/25000 地図:八ヶ岳西部 メンバー:小堀、市瀬

どうしても行きたかった北西稜、けれど今回も駄目でした。行者小屋への登山道、北西稜手前の沢にテープを見つけ、荷物を置いて、そこから伸びている踏み跡を辿ってみる。奥に青い氷が見え、踏み跡はアイスに向かう人か、とちょっとがっかりする。が、その手前から左手の尾根に向かって登って行くと、どんどん急な踏み跡があり、辿って行くと、どんどん急な



15日(土) 寒いセンター試験初日 強い寒気に伴って冬型が強まり、西 〜北日本の日本海側を中心に広範囲 で風雪が強まる。九州〜四国も強い 寒気の影響で雪や雨。日中の気温は 上がらず全国的に寒い一日。



16日(日)強い冬型 全国的に冬日 低気圧が東海上で発達。強い冬型の 気圧配置となり、全国的に風が強く、 日本海側で大雪。全国の9割以上で冬 日。高知県本山で-8.9°Cなど全国6か 所で観測開始以来最低の気温に。

1月15日から16日までの天気図。

MOS COLUMN

斜面を登って行く。これは北西稜への踏み跡に間違いないと思える所で、引き返し、登山道から沢に少し入った箇所の樹林帯にテントを張った。この頃には、雪は本降りになる。翌日、天気予報は相変わらず良くないが、少し小ぶりになったように見えたので、とりあえず、小ピークを目指してみる。昨晩の雪で消えつつある踏み跡をなんとか拾いつつ、稜線上にでる。

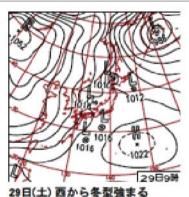
踏み抜きをかわしながら急な雪壁を登っていくと、小ピークについた。ガスっているし、風もある。が、たまに青空が上空に見え隠れする。ガスが晴れると奥に一瞬だが岩壁が見える。行くか、行かないか、散々迷う。これを逃したら、北西稜に暫くトライはできないだろうな、と思う。しかし、天気予報で知る限り、この後、天気が良くなるはずが無かった。つっこんだら、途中で大変なことにしなるかもしれない。結局、引き返すことにした。

帰りは尾根の反対側に続く踏み跡を辿って みるが、途中で見失い、体がすっぽり埋まっ てしまうほどの新雪の中を降りて行くことに なる。下のほうはかなりのラッセルで相当時

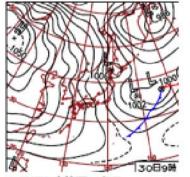


小ピークから。時折、ガスの間に目指すリッジが見える。

間がかかる。そんなこんなで、今年、最後の (冬の)八ヶ岳にも振られてしまいました。



29日(土) 西から冬型強まる 北陸や北日本日本海側は日中も雪。 福井県大野市九頭竜は積雪が2mを超 える。西から冬型の気圧配置となり 降雪の地域が拡大。九州も午後から 雪。網走で流水接岸初日。



30日(日) 広範囲で冬日 強い寒気の影響で太平洋側でも雪が 広がる。全国の約9割の観測点で朝の 最低気温が水点下。日中も気温は上 がらず東北以北は真冬日。北海道中 頓別で日最低気温-30.1℃。

1月29日から30日までの天気図。

復活ハイキング



平 真里

昨年秋に再発、年末に悪化した頚椎症。登れない、走れない、大きく息ができない・・・、泣き言に明け暮れること2か月、やっと山へ復活か。

定番の記念写直

2月6日(日)曇り

秩父:破風山

メンバー:市瀬、平

〈コースタイム〉

上沢辺(09:10)--天狗山(10:10)--大前山(10:20)-(11:10)破風山(11:40)--風戸(12:30)

『ヤマケイ』の低山特集で紹介されたばかりのルート。その前に、下界の友だちを連れて行こうともくろんだけどあっさり断られた。

秩父鉄道の皆野駅に向う途中、乗り換えの 熊谷で市瀬さんに会う。皆野駅から町営バス で上沢辺へ。バスに乗っているのは登山者の みだったが、上沢辺で降りたのは、私たち2人 だけだった。次のバス停、華厳の滝とのちょう ど中間点にあたる登山口に、案内坂がある。こ こから、稜線の天狗山までは、昭文社の絵地図 にラインがない。

沢沿いの細い登山道を行くと大前の集落で、 広い舗装路に出る。ここから登山道をちょっ と探して登り坂を行き、再び樹林の中に入る。 途中、大前山と天狗山への分岐があり、天狗山 をまわって行くことにした。

周りには誰もいない。動物の糞などあったりして、ひょっとすると熊ではないかとびくびくする。騒がしくしないと、とここで謡いを請われるがすぐに断ると、市瀬さんが「森の熊さん」を歌い出す。やっぱりこれか。

冗談でなく行く手から木の揺れる音がして、 立ち止まってしまった。市瀬さんがつけたラ ジオから場違いなナツメロが流れ出して出発。 問題の場所を通り過ぎて、稜線が近づくと、人 が見えた。人だったのかな。

天狗山で小休止。大前山からも別の人たちが登ってきた。私たちは逆に下る。木につかまりながら一気に下って登るとすぐに大前山。20分ほど。その先は、ところどころ鎖場が現れるが、登りなので、ほとんど使わずにすむ。 熊の心配がなくなったからか、いつの間にか 市瀬さんが先に歩いていた。水潜寺からの登 山道との合流点、札立峠は、大きな道標のある 広々とした場所だった。わずかな登りで破風 山につく。人でごった返していた。下山口の風 戸までは、コースタイムで1時間もない。ちょ

2人で記念撮影をして下山にかかる。「山靴 の道」との分岐であずまやに休憩していた

うど良いので、大休止にしてお湯を沸かした。

天気が良かったらもっと眺めが良かったのに。

人々が、満願の湯はこっち、と行 く先を指し示してくれた。数十 分程度の歩きで人家、先はすぐ 車道に出て、温泉をめざす。派手 な幟がたくさんありすぎて逆に 迷った。公共のふれあい館を通 り過ぎて、満願の湯に。賑わって いて休憩所も混雑していたので、 売店の脇の椅子に座り、ひと休 み。帰りも温泉前から町営バス に乗って駅に向った。

歩くことわずか3時間程度に すぎなかったが、久しぶりに山 道を歩けるだけで十分。

2月13日(日)晴れ

奥秩父・笹子雁ヶ腹摺山、お坊山 メンバー:平・他1

〈コースタイム〉

新中橋(9:20)--笹子雁ヶ腹摺山(11:20~11:40)--米沢山(13:00)--お坊山(14:00)---大鹿峠 (15:00)--景徳院(15:50)

3連休の予報は1、2日目が雪。これは近くで も雪が楽しめるかも、ということで、昨年同じ 時期に登った笹子雁ヶ腹摺山のさらに先まで 足を伸ばすことにした。同行者はおなじみS村 さん。

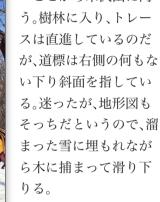
昨日までの雪がやんで、快晴。大月駅から新 田行きのバスに乗車。笹子から乗車した団体 さんといっしょに新中橋で下車。ゆっくり支 度をしていたら誰もいなくなる。出遅れたお かげで、トレースはしっかり。積雪は、足首と 膝の中間くらい。

徐々に急になるが、今季初めての雪にうれ しくなってどんどん登る。ほかの人とも前後 しながら、2時間ほどで笹子雁ヶ腹摺山頂につ

> いた。富士山のよく見え る場所を選んでお昼ご 飯にする。

ここから米沢山に向 う。樹林に入り、トレー スは直進しているのだ る。迷ったが、地形図も まった雪に埋もれなが ら木に捕まって滑り下 りる。

雪はさらさらでアイ ゼンは要らない。むしろ わかんがあれば良かっ たか。なんとなく道っ ぽいところを選び、



時々動物の足跡に導かれて進むと、道標が現 れる。昔の私たちだったら、トレースなくなっ たところで引き返したよね、と言いながら進 む。

かなりのアップダウンを繰り返すが、晴天 の雪の稜線歩きで気分よくつき進む。振り返 ると、笹子雁ヶ腹摺が遠くにみえた。米沢山直 下では鎖場も現れ、なんちゃって雪稜気分を 楽しむ。



お坊山に着くと、人の足跡 が現れた。トレースを刻むの もここまで。2人で振り返り、 感慨に浸りつつ、お汁粉食べ てひと休み。

当初は大鹿山まで行く予定 だったが、バスの時間に間に 合わなくなりそうなので、大 鹿峠まで行って降りることに した。峠には巨大な鉄塔。ここ から幅の広い、踏みならされ た雪道を下る。落ち葉の上に 看もり、踏み固められた雪は
 滑るうえ、スパッツのゴム紐 に雪が固まりとなって付着し、 歩きにくい。

車道に出ると、バスの発車時 刻まで間があったので、景徳院を見学。勝頼公 の墓前に手を合わせた。私たち2人で貸切の バスに乗って、甲斐大和の駅に着くと、さらに 勝沼ぶどう郷まで電車で下り、天空の湯に入 って軽く打ち上げをした。お疲れさま。

2月20日(日)量り時々晴れ

南ア・荒倉山

メンバー:初鹿、市瀬、平

前夜、新宿から須玉山小屋へ。須玉山小屋っ てどこ?連れて行かれてみれば初鹿さんの別 宅だという。騙されるまい、と思っていたが、 紛れもない初鹿さん宛の公共料金の請求書を 見て、ようやく得心した。

で、前夜は須玉山小屋の炬燵で快適に宿泊。 朝はファミレスで食事、とおよそ山に行くと は思えない気分が漂う。時間は9時になろう としていた。そろそろ登らねば、ということで、



車で釜無川に沿って、穴山 へ向う。方々では野焼きの 煙があがっていた。村落に 入っり、登り坂になると道 標もある。龍珠院の少し先 で車を停めた。

登山口に雪はない。落ち 葉の登山道を登りだす。緩 やかな傾斜を登ってゆく と、広い林道に出て、車と 作業員に出くわす。少し林 道沿いに進み、登山道に入 る。やっと雪が出てくるが、 くるぶしほどもない。3人 パーティが休憩する私た ちの脇を通り過ぎてゆく。

いままでよりはやや急にな

った坂道を登り、尾根にのって樹林がまばら になってしばらく進むと、視界が急に開ける。 案内坂に「つぶらの松」とある。ここで写真を 撮った。間もなく山頂に到着。先客あり。倒れ た丸太に腰掛けてお湯を沸かしてもらい、ゆ っくりとお昼にする。市瀬さんが、持参の珍し い柑橘系の果物の皮をせっせとむいて、振舞 ってくれた。ちょっとくつろぎすぎて、寒くな ってきたので下山にする。今季一度も履いて ないので、とりあえず12本爪のアイゼンを履 いた。錆びだらけですっかり汚れている。

「つぶらの松」を過ぎて、樹林帯に入ると凍 っている道を選んで歩く。木につかまってお りればアイゼンは不要。土が多くなってきて、 平川峠に出ると、アイゼンを外した。あっとい う間に龍珠院について、本日の行動終了。温泉 に入って帰路についた。

2月27日(日)晴れ

秩父・伊豆ヶ岳

メンバー:平・他1

〈コースタイム〉(おおよそ)

正丸駅(09:10)--五輪山(10:30)--伊豆ヶ岳(10:40~11:00)--高畑山(11:30~12:00)--小床橋14:10

破風山のときに購入した埼玉の分県登山地図。当初は釜の沢五峰を考えていたけれど、バス乗り換えの煩雑さに嫌気がさし、駅から駅へ歩いて行ける伊豆ヶ岳に。行ったのは10年以上前で、ほとんど忘れていた。

正丸駅から案内坂に導かれ、つい大通りに 出たくなるところをガードをくぐって反対側 に出る。民家脇の舗装路を歩く。正丸峠への分 岐を過ぎ、橋を渡ると登山道らしくなる。脇に ロープの張ってある急な坂を登りきると五輪 山。歩を進めると岩壁と鎖の前に、男坂と女坂 の分岐。せっかくだから男坂へ。ロープをくぐ り看板の警告は読むだけ読んで、鎖をつかむ。 鎖は右にも左にも下がっている。最初こそ岩 登りらしく足で登ってみたが、先も長いので 面倒になり鎖に両腕で捕まってぶら下がり登 ってしまう。岩の間にはところどころ雪が残 っていた。

鎖がつきたところで注意されて、左の道に 入る。途中で登れそうな岩があって迷ったが、 左に巻くと足場が悪いトラバースになってし まった。女坂との合流点で再びロープをくぐ り、その先に伊豆ヶ岳山頂。日当たりも展望も 良いので、地図を広げて小休止。

のんびりしすぎて人がいなくなってきたので、出発。むしろここからが長い。ベンチのある高畑山でお昼休憩。西吾野まであと3時間。 下山は15時ごろか。 天目指峠でいったん車道に下りると、またもや急な登り。祠があったので、そろそろ子ノ権現かと思っていると、竹寺への道とぶつかり急に視界がひらける。巨大な草鞋と下駄に見覚えがある子ノ権現に到着。お参りをして、参道を下ると屋根のついた広い駐車場。横切ってそのまま車道を下ってゆくと、右に駅への道を示す道標があった。植林地帯の暗い道を下り、再び車道になって、国道に下りたのが14時過ぎ。予定よりかなり早かったので、西吾野の駅とは反対方向へ歩き、奥武蔵あじさい館で入浴して帰宅。終始天気が良かったが、花粉も相当飛んでいたらしい。



伊豆ヶ岳の証拠

シーズンの山スキー (前編)

北原 浩平



(その1)上越:阿寺山

(日程)2月5日(土) (メンバー)北原、他

スキーアルピニズム研究会(RSSA)の仲間と行く 初めての山行。この阿寺山は、八海山の奥にある山 だが、パウダーゾーンとして名高い。

広堀橋の除雪終了地点に10数名が集まり、午前7 時30分過ぎに出発。10cm程度のラッセルを交代し ながら、ぐんぐん登っていく。昼過ぎに山頂に到着 し、遭難死したメンバーを追悼し、いよいよ滑降へ。

山の上部はガスられているので、慎重に降り始め る。ここからが阿寺山を熟知するリーダーの本領発揮で、パウダーゾーンの斜面をガイドして くれる。気象条件からすると、なかなかのパウダーに巡り会えた。

(その2)上越:平標山

阿寺山のオープンバーン

(日程)2月26日(土):三国小学校~平標山~平標沢~毛渡沢~土樽 27日(日):三国小学校~平標山~笹穴沢ん~ヤカイ沢~三国小学校 (メンバー)北原、他



山頂から西ゼン



平標沢の斜面



平標沢を滑る

Mag Colonia

上越方面はなかなか天候等のチャンスに恵まれなかったが、課題の一つの平標山を越えて土樽へスキーで抜けることができた。今回もRSSAの仲間との山行、この山域を熟知するメンバーがリーダーだ。

26日、山頂は強風だが快晴。気温が低く雪質は期待できる。仙ノ倉山越えが厳しく、当初予定を変更し、平標沢を滑ることにする。稜線直下はクラストしているものの、谷筋はパウダー。やはり山スキーも春より、冬がいいのを実感。素晴らしい景観を味わいながら、土樽までのツアーを楽しんだ。



仙ノ倉山

27日、今日はこちら側に戻るシークレットゾーンを滑る。昨日より気温が上がり、雪質は落ちる。山頂から笹穴沢を滑り、もっと行きたい誘惑を振り切りヤカイ沢側へトラバースする。

今度は、東側をまきながら、シークレットの疎林帯を滑り降りた。このルートは天候悪くても 大丈夫とのこと。いろいろと教えてくれてうれしい。

(その3)富士宝永山

(日程)3月6日(日) (メンバー)北原



2400m からの富士山



この日の富士山

生 雪期のマイナールートも楽しいワン U^ェ^Uその8 - 宝剣岳・サギダル尾根-



初鹿 裕康

日程:2011年2月13日 メンバー:小堀、初鹿、市瀬、西本 〈コースタイム〉 2/13 ガス/晴 千畳敷ホテル(8: 53)--取付(9:38)(10:05)--サギダル の頭(13:04)--千畳敷(13:46)

サギダル尾根に向かう(写真1)

2月3連休、民宿泊まりでのんびりとか思 って計画を立てたのが運のつき。天気が悪 いし、今更キャンセルして、転進も出来ない。 初日は全く動けないので、菅の台の民宿で 身体が重いまま宴会突入。泊まりは我々だ け。他の客は降雪のためキャンセルしたそ

うだ(--)。2日目は千畳敷ホテルの格安パッ クで宝剣のバリエーションでもと思ってい たのだが、なんとロープウエーに至る道が 除雪中で、今日中に開通するかどうかわか らないとのこと。午後までうだうだしてい たが、あきらめて戻ろうと、高速に乗ったと

> たんにホテルから電話。バスは 走れないがワゴン車なら走れ るので、泊り客のためだけにロ ープウエーを動かすとのこと。 言ってくるのが遅いけど、踵を 返して菅の台に戻る。

> サギダル尾根はホテルの目 の前の尾根(写真1)、神社の裏 から左寄りに最初の岩場を左 から巻いて登る。リッジ上に出 るまでは中央登山学校のトレ ースがあったがそこより先は、 ラッセルとなる。と言っても雪



最初の岩場を目指して (写真2)

は軽すぎるほど軽い。取付らし きところでザイルを出す。ただ 風が強く前を向いていられない ので、結構小堀さんが苦労をし ている(写真2)。

次の岩場を登った後、「西本ち ゃん登れないから」と叫んでる。 でも、どーすんのよ。そのあと 「西本ちゃん、引上げるから後ろ にはっちゃんのザイルつけてき て」といわれる。ということは、 登れないのは俺か(:一一)小堀 さんの確保地点の手前で、一ヶ 所イヤらしいところがあったが、 何とか左側から回り込みガバを つかんで乗っ越す。

確保地点手前には2本ハーケ ンがあった、思ったよりシビア じゃん。「場所が狭いので先行し て」と言うので、そのままザイル を伸ばす。一度ちょっとコルに 降りるのだが、コルらしきとこ ろは雪がしっかりしておらず、 多少ナイフっぽいので結構怖い (写真2-2)。

「石楠花尾根の練習だと思っ て」と言われても。木の上を這 うように登ったが、後続は雪が 落ちてしまったので、木の上に 登るのが大変だったとか・・・。 コルの先でザイル一杯。ERIKO と交代。ERIKO先行する。雪壁 の登りだが、雪がすかすかで登 りにくそう。ザイル一杯でも良 い確保地点がない模様(写真3)。

ERIKOの所まで登って、「こ



コルに向かう (写直 2-2)



上部確保地点(写真3)



を物語る小堀さんの顔 (写真4)

CHEST TO

の先に支点が取れるところないかなぁ」というので、ちょっと登るとサギダルの頭が見えた。頂上にあったでかい岩で確保。天気は完璧に回復し、いい気分だぁ。みんなが上がってくるのを待って、極楽平に下る。(写真4)

ここから下の雪の状態が心配だったが、 軽い雪だったのでラッセルも軽快。雪崩に 気をつけながら、意外とあっさりと下る。 (写真5)



極楽平からの下り (写真5)

ア・宝剣岳サギダル尾根

市瀬 江利子

日程:2011年2月11日~13日 山域:中ア・宝剣岳サギダル尾根 メンバー:小堀、初鹿、市瀬、西本

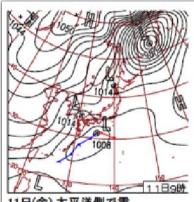
核心の岩場を下から見上げる。

今年まだ一度も行けていない、バリエーション。なんとか一本行きたかった。相変わらず、 三連休の天気も最悪だったが、今回はなんと か最後の一日、登らせてもらうことができた。

三連休はまさかの大雪が日本列島を覆った。 高速道路は通行止めが相次ぎ、木曽駒ケ岳へ の道も、除雪が間に合わず、バスが通行止めの

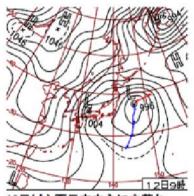


状態。麓の民宿「天山」に初日は宿泊をしていた為、開通を待つ間、大田切川野猿の岩場の氷を偵察に。ほぼ凍っていない状態だったのでそのまま引き返す。その後、開通の目処が立た



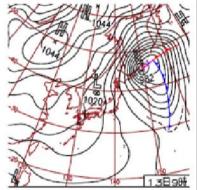
11日(金) 太平洋側で雪

四国沖から北東進する南岸低気圧の 影響で、四国から東北南部で雪や雨。 平野部での最深積雪は、宇都宮7cm、 水戸4cm。山陰沖の低気圧の影響で、 山口県下関で降ひょうを観測。



12日(土) 西日本中心に大荒れ 西日本では山陰沖の寒冷低気圧の影響で強風と局地的な大雷。島根県浜 田市大辻町で最大風速23.9m/s、最大 瞬間風速35.3m/s、日降雷量は広島県

瞬間風速35.3m/s、日降 北広島町八幡で59cm。



13日(日) 冬の天気分布

冬型の気圧配置。山陰・北陸や北日本は雪やふぶき。西日本の暴風・強風はおさまる。連休最終日、太平洋側は広く晴れとなり、東海〜関東は6日ぶりのスッキリした冬晴れ。

2月11日から13日までの天気図。

CHEST TO

ず、転進しようと高速に乗った所で、千畳敷の ホテルより連絡があり、宿泊者のみ、ボックス カーで対応するとのこと。夕方4時ごろボッ クスカーに乗り込み、千畳敷へ。

翌日、朝の内は、まだガスが濃かったが、その後回復。ホテルの真正面、鳥居の左側から尾根に向かって登っていく。

小ピークより暫く登ったところから、ザイルを出して、基本的に、小堀・西本/初鹿・市瀬パーティで登り始める。

1P:小堀/市瀬リード(20m程度)

岩峰基部まで雪壁を登っていく。ところど ころ、ブッシュで支点を取る。

2P:小堀リード(15m程度)

この岩峰に差し掛かったところで、風が強くなり、雪を巻き上げる。岩も凍っているようだ。小堀さんがだいぶ苦労しているところを見ると、相当厳しそうだ。西本さんにザイルを一本引いてもらい、後に続く。岩峰を右に回りこんでから、左にトラバース気味に超える場所が凍ったフェースで嫌らしい。ハーケンが一本打たれている。そこから上に抜ける箇所は、唯一ある足場も不安定で、どうやって登るんだ?って感じだったが、よく探すと、岩の向

こう側、奥の右手にちょっとしたガバがあり、そこに思いっきり体重をかけて登るとすんなり登れる。

3P:初鹿リード(5m程度)

細いリッジを超える。ピッチはリッジ奥にある樹木までで短く切る。かなり高度感があり、雪が崩れそうで怖い。

4P: 市瀬リード(30m程度)

雪壁を直登、その後上部で左 ヘトラバース気味にリッジを登 っていく。所々ブッシュを掘り出し、支点を取る。ザイルの流れが悪くなりそうなので、頂上 直前でピッチを切る。

5P:初鹿リード(10m程度)

リッジを登っていくと頂上まではすぐ。頂 上奥の岩場に支点が打ってあり、ビレイがで きる。

(*ピッチの距離はだいたいのイメージです。)

頂上は素晴らしい景色で、登れたことに安堵する。時間も無いので、宝剣への往復はせずに、戻ることに。雪崩を心配したが、ある程度雪も安定していたので、左側(尾根より)にルートを取りながら千畳敷へと下る。とはいえ、やはり、ふわふわの深い雪で、怖いなあと思いながら下った。

しかし、久しぶりの一本、そして、個人的には今年最後のバリエーションになる一本。快晴の中、登れて良かった。すっきりとした、充実した気持ちで下山することができました。



最後のピッチ。リッジがカッコいい。

片馬と尾瀬の山スキー

山里 守広

日程:2011年4月28日~5月1日 山域:北ア・白馬→尾瀬・至仏 メンバー:初鹿、山里、北原、西本

4月28日(木)

白馬駅でビールを購入した後、タクシー で二股へ向かう。二股で取り敢えず使わな い物をデポして猿倉へ向かう。明日からな ら猿倉荘まで車で入れるのだが、残念なが ら一日早いが為に歩くしかないのだ。歩き だして一時間もすると、あんなに良い天気 だったのが急激に天気は悪くなり、雨が降 り始めてきた。雨足は強くないがしぶとそ うな雨である。猿倉荘に行く途中、物置の小 屋があり、そこで雨宿りを決め込むが、庇が 短い為に長居は出来ない。物置小屋から猿 倉荘まで、どの位の時間が掛かるのか、確か める必要があったので、私が空身で林道を 登る。小屋から猿倉荘まではそんなに時間 が掛からないので、雨の中を歩きだす。猿倉 荘にはお昼時に着き、そこで豚丼を注文す る。ここの豚丼が意外に美味しい。ビールも 飲みたかったが、これから猿倉台地まで登 らなければならないので諦める事にした。 しぶとい雨の中の林道をシール登行し、緩 やかな左斜面から台地に向けて高度を上げ て行く。3時頃、適当な幕営地を見つけテン トを張る。テントの中でのんびりとビール を味わいつつ飲んでいると、しぶとい雨は

雪に変わり激しさを増していく。こうなってくると残された楽しみは、夕食のウナギ丼だけだ。天気が良くてもっと早い時間に猿倉台地に着いていれば、長走沢を快適に滑る筈だったのだが……。

4月29日(金)

ほぼ予定通り、北ちゃんと西本さんが9時 過ぎに我々の前に姿を現した。西本さんは 結局、スキーをやる事になり、スキー板を取 りに猿倉荘の駐車場に留めてある車に戻る。 そして、彼女は山スキーが初めてというこ とで、初ちゃんもスキーをセットしてその 後を追う。その間、運転で疲れている北ちゃ んにはテントの中で仮眠してもらう。猿倉 から二人が戻ると、しばし休んだ後、小日向 へ向かう。小日向の山頂付近は風が強くて 身を隠す場所がなく、そそくさとその場を 後にする。前日の雨のせいか雪が重く滑り 辛い。正しくオフピスト状態の斜面になっ ていた。今シーズン初滑りの私にとっては 少々苦しい滑りだ。スキー技術2級の腕前を 誇る西本さんは、山スキーが初めてにもか かわらず2回の尻もちはさすがである。今日 はそれなりにスキーを楽しめた感じである。

4月30日(十)

本来なら今日は、初ちゃん、西本さんは東壁A尾根の登攀。私と北ちゃんは杓子沢をダイナミックに滑降する筈であったのだが、白馬周辺は天気があまりよくない。杓子岳の上部はガスっていてスカイラインが良く見えない状態である。三日前にも大雪渓で雪崩が発生し、遭難者がでたようです。そして、テント場から見える長走沢上部にもかなりの規模の雪崩跡を確認する事ができた。白馬周辺は天気がいまいちという事と、雪崩の可能性が高いという理由で尾瀬へ転進することになった。今日は尾瀬に向かう為の移動日である。

尾瀬の鳩待峠も矢張り雨だった。初ちゃんの提案で小屋から見えない場所にテントを設営した方が良いのではないかという話があり、峠から20分程登った平な場所を選んでテントを張る。早い時間からテントに入ったせいか、ついつい酒の量がすすみ明日の行動に影響が出るほど飲んでしまった。

5月1日(日)

今日は4時起床の5時出発である。天候はあまり良くないが、至仏へ向けてシール登行に入る。しんがりを歩く私は何だか足が重いのを感じた。前を歩く三人は普通に歩いている筈なのに私との距離は広がるばかりだ。そのうち腹の調子が悪くなってきて二度キジ打ちに行く。森林限界から少し元気を取り戻したように感じた。8時頃、私が至仏山に着く頃には雨は止んでいたが、風がかなり強かった。この至仏山の大斜面をこれから滑るかと思うと、今までの疲れは

何処かへふっとんでしまいそうな気がしてならない。我々は思い思いに大斜面にシュプールを描いた。

風を切る爽やかさ、ターンする時の微妙な緊張感は、もうたまらないです。ルートをワル沢に求め、木々の間を縫うように滑るのも、新たな緊張が生まれ、素敵だ。鳩待峠の登りはやっぱり疲れた。峠の駐車場に9時30頃到着する。そのままテント撤収に行こうとする時、「北ちゃんが撤収に行っているよ」と初ちゃんから言われるが北ちゃん一人だと大変だと思い幕営地に向かう。撤収を終えて滑ってくる北ちゃんから荷物を受け取る。疲れているけど充実感はあった。後は温泉でのんびりとくつろぐだけだ。

<u>早</u>色を見ながら!

初鹿 裕康

ートレイルランー

○十代になってしまったので年代別には 有利じゃない?かと思い、訳あって、通って いるジムのSWIMのマスターズ大会に申し 込んでみた。25mと50mの自由形。1分位で 終わってしまうレースって?感じなのです が・・・・。

しかし、地震であえなく中止になってしまった。

で、自粛ムード漂う中、トレランに励みま した(*^_^*)。

3/13 奥多摩·青梅丘陵

軍畑から青梅のコース。この頃は高水山 トレイルの練習している選手が多い。2時間 程走って、河辺の梅の湯で憂さ晴らし?

3/27 熱海·玄岳

小田急線で小田原、熱海。どんなコースかもわからないまま。最初は熱海から走ろうと思ったが走らなくてよかった。乗ったバスはズーと登り坂を上っていく。登山口からもひたすら登りが続き、走るどころではない。山頂の景色はいいけど、すぐそばを走るハイウエーがうっとうしい。トレランには不向きだった。登山口に戻り、下りはひたすら熱海まで走って駅前の温泉に。

4/2 道志·高尾山

ケーブルカーに子供を乗せて、私は表参 道を走る。山頂でおそばを食べて帰る。

4/10 丹沢·大山

ケーブルカーに子供を乗せて、私は女坂 を走る。山頂でおそばを食べて帰る。しかし、 大山はずーっと登りだった(= =)

4/24 奥多摩·青梅丘陵

前と同じルート。桜の花びらの絨毯を走る。

あ~雪山行きてぇ(;;)

5/22に棒の折のトレランに申し込んでしまった。夏に申し込むつもりだった大会はあっという間に締め切られてしまった。トレランブームだ。今年は年代別優勝(?)を目指して頑張ろうかな。

とりあえず、今できることをトレーニン グしましょう。

山登りは結局体力勝負。荷物持てなくなったら、だぁれも遊んでんでくれなくなっちゃうもんね。おみそはいやだ(-_-;)

なほみさんのいつまでやってんだ全く **ク**ライミング日記

水野 奈保美

過去最高まるまる絶察増量中



1/9(日) 障子岩

with お師匠。先月、某岩場であった人があとから北けど、今日も静かで暖かな障子でござった。今日は11bを3回。

なんつーか昔ながらのローカルエリア独特のこの難しさはなんだっつ。または、私らの体がカブり耐性になっていない。まーでも。ね、あったかそうでしょ?長袖じゃ汗ばむくらいだよ。アタシはまるまる太ってる[なう]でさらに

あったか感倍増[なう]。ただ14時頃には 日がかげってしまい、 さっさと帰ろうモー ドになんのがタマに 傷ね。

1/16(日) 景信山

with お師匠。土日とも寒そうだったので日曜日餅つきハイクに合流しますた。午前中はいい天気だった

んだけど、山頂ついて餅つきに参加したころから風が出てきて結構寒かった。お雑煮やらおしるこやら熱燗がうれしかった。

1/22(土) 障子岩

with お師匠。先客1パーティー。こーちゃんと師匠の知り合いだった(狭)11bを3便。(師匠は2RP)日が当たらなくなったので早々に下山。足湯入って途中のスーパーで買った刺身で一杯

1/30(日) 池田フェース。寒 杉

with お師匠、こーちゃん、つか兄 予報がハズレて日はでないは寒い わ。なのに池田フェース。しかも私 らの他にもう1組。

・明日なき世界2004(12c/d)×2 小型犬を連れて来ていたクライマーのひとは、ゴースト・ステップ (13a)RP(!)。いやーすごくうまい人を久々に見た感じ。師匠と関心しながら帰る。



景信山への道。

2/6(日) 障子岩。

with お師匠。11bも終わってないのに11dを 2回。ロープたらしてるの写すと傾斜がわか るね。

2/13(日) 高尾で女子会~



昼間っから飲み過ぎな二人

ン。うふふ女子会でしょお~。でも酒たんなくなって売店でワンカップ(熱燗)下りてから高 尾山口の蕎麦屋でとろろそば&ビール。やぱ りおやじギャル(死語)会なのであった。

4/2(土) デッド

with 師匠、カサゴ嬢。中洲集合でデッド。ジャンピングフックでカサゴ嬢足ぐき。デッドに移る。デッドは出だしもできず、つまんないので酒買って3人で家に帰って酒盛り。アタシは明日は仕事だ。カサゴ嬢足ぐき養生しなさいな。

4/10(土) うわあ こんなに登れなくなって いるとは…(1) 湯河原

with M川。5.9 10a 10b あたりを登ってから、もうバカやらダイヤモンドヒップとか触



障子岩の南面。カブってま~す♪



貸切デッドエンド前。

ってみたけど、こんなに登れなくなっている とは・・・・クールダウンでアボリジニ?だった っけカンテ沿いのやつ。やってみたら登れん かった。

気をとりなおして駅前中華で大+中ジョッキ 飲んだりして帰る。

4/16(土) うわあ こんなに登れなくなっ ているとは…(2) 天王岩

with お師匠、M川。カサゴ嬢+M川さんと城山でも、と思っていたのだが、木曜にカサゴがジムで肉離れを起こしたので急遽近場日帰り天王岩。

10bとか5,9とか11bとか11aとか10bとか10aとか5.9とか6本。

ボルト位置の変わってしまった八月革命の2本目に、しばらくハンガーがかかっていなかった理由がわかったようなきがする。だが、登れないけどムーブは完璧に覚えてるはずだった八月は超GDGD(クリップ位置が変わったせいだと言い聞かせる)カイーのもまるで登れなかった。ウギャー。どんだけ落ちてんのオレ。

4/20(水) デッドエンド、忍者

お師匠と平日御嶽。デッドエンド→鵜の瀬で お弁当→忍者。きょうはたいち君にあいまし た

はじめて忍者に触ってみたテスト。人が少ないから気兼ねなくお試しできました。

4/29~5/5 廻り目平キャンプ ダイジェスト

4/29 午後からのんびり塩川ダム泊4/30 廻り目平入。 弟岩の3ピッチもの。5/1 天気悪。クジラ岩 穴社員とか船長とか



まったくいつまでやってんだ穴社員やらデッドやらなにやら



の出だし

5/2 左岸スラブ トムとか黒白とかでアップしてロリータ(12a)再び触ってみるテストよく登れたもんだ アルピニスト(12b)★★ 5/3 妹岩 スラブとカサブランカ 5/4 2峰 星と光(12a)★★★今年はコレかなシビレたわ。

5/5 三国峠越えでのんびりかえる。





No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
2859	12月30日-1月2日	南ア	荒川岳(千枚岳手前まで)	山里·西本	雪山
2860	12月30日-1月4日	北ア	蝶ヶ岳	岡•他5	撮影山行
2861	1月1日	道志	高尾山	水野·他1	ハイク
2862	1月2日	奥多摩	障子岩	水野·他1	フリー
2863	1月6日	奥秩父	秩父御岳山	初鹿•他6	ハイク
2864	1月8-9日	八ヶ岳	天狗尾根(敗退)	初鹿・市瀬・北原・西本	バリ
2865	1月9日	奥多摩	障子岩	水野•他1	フリー
2866	1月10日	南ア	日向山	初鹿・市瀬・北原・西本	雪山
2867	1月15-16日	八ヶ岳	行者小屋~赤岳鉱泉	小堀·初鹿·市瀬·西本	雪山
2868	1月20-21日	北ア	錫上沢出合	岡	撮影山行
2869	1月22日	奥多摩	障子岩	水野・他1	フリー
2870	1月22-24日	八ヶ岳	小同心クラック	初鹿•他	バリ
2871	1月29-30日	八ヶ岳	阿弥陀北西稜途中	小堀•市瀬	バリ
2872	2月2日	上越	那須·茶臼岳	岡	撮影山行
2873	2月5-6日	八ヶ岳	阿弥陀北稜	小堀·西本	バリ
2874	2月5日	上越	阿寺山	北原·他	山スキー
2875	2月5-7日	上越	福島•鬼面山	初鹿•他	雪山
2876	2月6日	奥多摩	障子岩	水野・他1	フリー
2877	2月6日	西上州	古賀志	西本·他	フリー
2878	2月6日	秩父	破風山	市瀬•平	ハイク
2879	2月13日	中ア	宝剣岳サギダル尾根	小堀·初鹿·市瀬·西本	バリ
2880	2月13日	奥秩父	笹子雁ヶ腹摺・お坊山	平•他1	ハイク
2881	2月20日	南ア	荒倉山	初鹿・市瀬・平	ハイク
2882	2月20日	奥秩父	大菩薩嶺	北原·他	雪山





万一覧 2011年2月~5月

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
2883	2月26-27日	上越	平標山	北原·他	山スキー
2884	2月27日	奥武蔵	伊豆ヶ岳	平•他1	ハイク
2885	3月5日	富士	宝永山	北原	山スキー
2886	3月9日	奥多摩	御嶽ボル	水野•他1	フリー
2887	3月13日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿	トレラン
2888	3月25日	伊豆	巣雲山	初鹿•他2	ハイク
2889	3月27日	伊豆	玄岳	初鹿	トレラン
2890	3月29日	南ア	入笠山	初鹿	山スキー
2891	4月2日	道志	高尾山	初鹿	トレラン
2892	4月2日	奥武蔵	日和田	平•他7	岩トレ
2893	4月10日	丹沢	大山	初鹿•他1	トレラン
2894	4月10日	富士	釈迦ヶ岳	平•他3	ハイク
2895	4月17日	奥多摩	越沢バットレス	小堀·初鹿·西本·他 1	岩トレ
2896	4月24日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿	トレラン
2897	4月25日	奥多摩	越沢バットレス	小堀•他1	岩トレ
2898	4月28-30日	北ア	猿倉BC~小日向山	初鹿・山里・北原・西本	山スキー
2899	4月29日	西上州	三ツ岩岳、烏帽子岳	岡	撮影山行
2900	4月30日	西上州	四つ又山	岡	撮影山行
2901	4月30日-5月1日	南ア	仙丈ヶ岳(小仙丈まで)	平•他1	雪山
2902	5月1日	尾瀬	至仏山	初鹿・山里・北原・西本	山スキー
2903	5月3日	道志	嵐山	初鹿	トレラン
2904	5月3-5日	北ア	槍ヶ岳	平•他1	雪山
2905	5月4日	秩父	登谷山	初鹿·市瀬	ハイク
2906	5月5-7日	北ア	槍ヶ岳	北原·他1	山スキー

公戸集、後記。



今回はネタ切れ。引用します。

『わたしは岸辺で海を見ている。と、遠く波間で手を振るひとがいる。 そこでわたしは、波間のひとに手を振り返す。そしてやがて波間のひと のことは忘れて、砂浜の貝を拾いだすかもしれないし、ポットから注い だ紅茶を飲むかもしれない。

そうして・・・・・・。しばらくの後、わたしは知らされるのだ。波間で手を振っているかのように見えたひとは実は、溺れて助けを求めていたのだ、と。助けることができなくなって、から。』

この詩は強烈だと思う。皆さん何を感じますか?(H)

思いつきから提出したお題。人が(山ではない)どんな遊びをするのか興味があった。まとめながら、ついつい、ひとこと添えたくなってしまう。Kさん、勧めてくれたあの映画本当に見た?、Hさん、それらが山に活かされなくても運動できる?、Iさん、いま釣りしないでハイキングしてるよね?・・・山ヤが山以外のことをするのがいまひとつ信用できないのだった。(T)





仕事もお金もないこの先どうなる?いよいよ実家か?なんていうその日暮らしを経て、なんとか雇ってもらえたんだけど(バイトだけど)どうやら(やっぱり)事務職一般が出来ないことが判明。つうか、大概は出来てるんだけど、ちょっとだけ、何かしら間違っちゃったりしちゃうんだよね。いやあ、会社で働くお父さんやおねえさん方、みんなすごいなあと関心しております。アンタには無理でしょプププとかたまにいるんだよね~向いてない人(爆)等、慰めのお言葉絶賛大歓迎中。

つーかお願いですから、写真キャプションは本文内に書いてくださいよ画像ファイル名に自分の名前入れてくださいよ本文に氏名を書いてくださいよ。でっかい字で書いておくので初鹿裕康、北原浩平、平真里よろしく。(M野)



稿の書き方、送り方について。

1.入稿テキストについて

- ★プレーンテキスト形式でお願いします。
- ★文章中の「数字」「アルファベット」「記号」 は半角で入力して下さい。
- ★機種依存文字は使用しないで下さい。(下図参照)これらの記号はWindowsパソコン

0234567890 01234567892

ミッキュをソメーグラト、アーヘクリッワッカード、センバーミリベー カード、センバーミリベー

mmcmkmmgkgccm² 轼 ""NaKK.TeLL中⑤⑤⑥ 梯角代鵬拉쪪 ≒≡∫∮∑√⊥∠L⊿∵∩∪

機種依存文字

以外では正しく表示されません。

- ★コースタイムなどの矢印「→」「⇒」などを 使用する場合は書式を統一して使って下さ い。
- ★記号の前後のスペースは入れないでください。こちらで削除するなど手作業で統一しています

★本文中に作者の氏名を 必ず入れて下さい。

★【重要】文章の適当な場所に段落を作って、 読みやすく書いて下さい。**段落頭の1** 文字下げはしなくても結構 です。(編集時に一括制御します)

2.データ送付について

★ データのファイル名

ファイル名は「半角英数字」で15文字以内。 スペースや「.」「/」「¥」は使わないでください。

日付+名前+ナンバリング +拡張子でよろしくです。

例) 20110505mizuno.txt 20110505mizuno01.jpg 20110505mizuno02.jpg

3.写真キャプション

★ キャプションは本文中 に記述してください。

どのへんに入れて欲しいかも、ご指定頂くと 助かります。

